



2008年

**全国硕士研究生
入学统一考试**

日语考试大纲

(非日语专业)

附2006、2007年试题分析

● **教育部考试中心**



高等教育出版社
HIGHER EDUCATION PRESS

2008年

全国硕士研究生
入学统一考试

日语考试大纲

（2008年版）

教育部考试中心 教育部考试中心日语分委员会 编

教育部考试中心

教育部考试中心
教育部考试中心日语分委员会

2008 年全国硕士研究生入学统一考试

日语考试大纲

(非日语专业)

附 2006、2007 年试题分析

教育部考试中心



高等教育出版社

Higher Education Press

图书在版编目(CIP)数据

2008 年全国硕士研究生入学统一考试日语考试大纲/教育部考试中心. —北京:高等教育出版社, 2007. 7
非日语专业
ISBN 978-7-04-021301-0

I. 2... II. 教... III. 日语-研究生-入学考试-
考试大纲 IV. H36-41

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2007)第 090892 号

策划编辑 刘 佳 责任编辑 松 石 封面设计 王凌波
版式设计 余 杨 责任校对 杨雪莲 责任印制 陈伟光

出版发行	高等教育出版社	购书热线	010-58581118
社 址	北京市西城区德外大街 4 号	免费咨询	800-810-0598
邮政编码	100011	网 址	http://www.hep.edu.cn
总 机	010-58581000		http://www.hep.com.cn
		网上订购	http://www.landaco.com
经 销	蓝色畅想图书发行有限公司		http://www.landaco.com.cn
印 刷	涿州市星河印刷有限公司	畅想教育	http://www.widedu.com
开 本	880×1230 1/32	版 次	2007 年 7 月第 1 版
印 张	13.75	印 次	2007 年 7 月第 1 次印刷
字 数	390 000	定 价	28.00 元

本书如有缺页、倒页、脱页等质量问题, 请到所购图书销售部门联系调换。

版权所有 侵权必究

物料号 21301-00

目 录

考试说明	1
一、评价目标	1
二、考试形式与考试内容	3
三、试卷结构表	4
参考试题、参考答案和评分参考	5
一、参考试题	5
二、参考答案和评分参考	21
附录一	24
一、词汇表	24
数量词表	300
二、语法表	308
三、常用功能表达用语	320
四、日语惯用表达形式	344
附录二	358
一、2006 年全国硕士研究生入学考试日语试题分析	358
二、2007 年全国硕士研究生入学考试日语试题分析	393

考试说明

全国硕士研究生入学统一考试是为高等学校和科研机构招收硕士研究生而设置的。其中,日语实行全国统一考试。它的评价标准是高等学校非日语专业优秀本科毕业生能达到的及格或及格以上水平,以保证被录取者具有一定的日语能力,有利于各高等学校和科研机构在专业上择优选拔。

本大纲适用于 2008 年和 2009 年参加全国硕士研究生入学统一考试日语考试(非日语专业)的考生。

一、评价目标

考生应掌握下列语言知识和技能:

(一) 语言知识

1. 语法知识

考生应能熟练地运用基本的语法知识,特别鼓励考生用听、说、读、写的实践代替单纯的语法知识学习,以求考生在交际中能更准确、更自如地运用语法知识。

2. 词汇

考生应能掌握 7 000 个左右的词汇以及相关词组(详见附录一)。

由于语言的演化是一个动态的发展过程,这意味着需要对词汇表进行不断的研究和定期的修订。

此外,研究生日语入学考试是非日语专业的日语考试。考虑到交际的需要,考生应自行掌握涉及个人好恶、生活习惯、宗教信仰以及本人工作或专业等方面的特殊词汇。

(二) 语言技能^①

1. 阅读^②

考生应能读懂不同类型的文字材料(生词量不超过所读材料的3%),包括信函、书刊和杂志上的文章,同时还能读懂与自身学习或工作有关的文献、技术说明和产品介绍等。根据所读材料,考生应能:

- (1) 理解主旨要义;
- (2) 理解文中具体信息;
- (3) 理解文中的概念性含义;
- (4) 进行有关的判断、推理和引申;
- (5) 根据上下文推测生词的词义;
- (6) 理解文章的总体结构以及单句之间、段落之间的关系;
- (7) 理解作者的意图、观点或态度;
- (8) 区分观点、论点和论据。

2. 写作

考生应能写出不同类型的应用文,包括私人和公务信函、备忘录、摘要、报告等。同时也能写出一般描述性、记叙性、说明性和议论性的文章。考生应能:

- (1) 比较准确地运用日语语法、词汇进行书面表达,书写、标点正确;
- (2) 遵循文章的特定文体格式;
- (3) 合理组织文章结构,使其内容连贯有序;
- (4) 根据写作目的和特定读者,选用恰当的语言有针对性地进行表达。

① 考生应掌握的语言技能包括听、说、读、写四种能力。但是由于听力和口语能力的考查在复试中进行,因此,这里只列出读和写两种技能。

② 硕士研究生日语入学考试将日译中试题作为阅读理解的一部分,其目的是测试考生根据上下文,准确理解日语句子并用汉语予以正确表达的能力。

二、考试形式与考试内容

(一) 考试形式

考试形式为笔试。考试时间为 180 分钟。满分为 100 分。

试卷分试题册和答题卡(1、2)两部分。考生应将 1~40 题的答案填涂在答题卡 1 上,将 41~46 题的答案写在答题卡 2 上。

(二) 考试内容

试题分三部分,共 46 题,包括日语知识运用、阅读理解和作文三部分。

第一部分 日语知识运用

本部分不仅考查考生对用于语境中的规范的语言要素的掌握程度(这些语言要素包括词汇、语法结构和表达方式),而且还考查考生对语段特征(如连贯性和一致性等)的辨识能力等。

本部分为一篇 1 000 字符左右的文章,针对文章提出 20 个问题,要求考生从每题的 4 个选项中选出最佳选项。每小题 1 分,共 20 道小题,满分 20 分。考生在答题卡 1 上作答。

第二部分 阅读理解

本部分由 A、B 两节组成,考查考生阅读书面日语的能力。

A 节由 4 篇阅读文章组成,阅读总量为 4 000 字符左右。每篇文章后设有 5 个问题,要求考生根据文章内容从每题的 4 个选项中选出最佳选项。每小题 2 分,共 20 道小题,满分 40 分。考生在答题卡 1 上作答。

B 节为一篇 1 000 字符左右的文章,要求考生读懂后把文章中 5 个划线的句子翻译成汉语。每小题 3 分,共 5 道小题,满分 15 分。考生在答题卡 2 上作答。

第三部分 作文

本部分要求考生根据题目要求写出一篇 450~500 字符的短文。满分为 25 分。考生在答题卡 2 上作答。

三、试卷结构表

部 分	书	为考生提供的信息	题目导语	测试要点	题 型	题 目 数 量	计 分
I 日语知识运用 (20分)	A	1 篇文章	日语	词汇、语法结构和表达方式	四选一	20	20
		4 篇文章	日语	理解大意和细节 推测词义 推断作者意图、观点等	四选一	20	40
II 阅读理解 (55分)	B	1 篇文章 5 处划线部分	日语	准确理解日语 并用汉语通顺表达	日译汉	5	15
		提示的信息 及有关要求	日语	书面表达	写短文 (450~500 字符)	1	25
总 计						46	100

参考试题、 参考答案和评分参考

一、参 考 试 题

全国硕士研究生入学统一考试

日 语 试 题

考生注意事项

1. 考生必须严格遵守各项考场规则。
2. 答题前,考生应按准考证上的有关内容填写答题卡上的“考生姓名”、“报考单位”、“考试语种”、“考生编号”等信息。
3. 日语知识运用(基础知识)、阅读理解 A 节的答案用 2B 铅笔涂写在答题卡 1 上,如要改动,必须用橡皮擦干净。阅读理解 B 节、作文用蓝(黑)色字迹钢笔、圆珠笔或签字笔写在答题卡 2 上。
4. 考试结束后,将答题卡 1、答题卡 2 及试题一并装入试题袋中。

I. 基礎知識(20 点)

次の文章を読んで、1～20の問いに答えなさい。答えは選択肢[A][B][C][D]からもっとも適切なものを一つ選びなさい。

だれにも会いたくない。少しも口を利きたくない。(1)ただ一人でじっとしていたい。そういう気持ちのときがしばしばある。これは意気阻喪のときではなく、情意沈潜のときである。

わたしは純白か漆黒かの尾の長い猫【ア】なら、見当り【イ】次第何匹でも飼いたいと思っている。(2)、室内にとじこめられたペット用の外国産のものではなく、自由に戸外を駆け回る野性的な日本産種のほうがいい。尾の短いのは人工的でいけなく、尾の長い自然的なのが【ウ】最高だ。

(3)、何故に猫か。猫は飼養動物のうちでもっとも人間に近い生活をしている。屋内に人間と同居し、同じ食物を食べ、同じ寝具に眠る。用があり、(4)喉を鳴らしてすり寄って来るが、そうでなければ、呼んでも返事をせず、【エ】すまして他所(5)向いている。猫は人の顔色を読むと【オ】いわれているが、往々、もっともよく人間の顔色を無視する。そして庭の隅や、縁側の片端や、机上などに、ただじっと蹲って一人で夢想している。そうした夢想の中に、肉食獣としての本来の野性がある。【カ】猫のうちには馴服され(6)何物かが残っているとわたしには思える。

それを、わたしは自分のこととして感ずる。人に会いたくなく、口を利きたくなく、一人でじっとしているとき、その沈潜しているわたしの情意は、道徳的な習慣的な、換言すれば世間的な一般的なものであって、その底には、胸の(7)に潜む野性的なものが存在する。それは猫の馴服と同様に、人間の道徳や習慣では完全に覆うことのできない何物かが存在するのである。そしてその野性的な何物かの中にもっとも多くの芸術の萌芽がある。

芸術が一種の創造であるという要素は、この馴服されない野性的な深い何物かの上に建設される(8)にある。この建設のない場合、芸

術は創造的要素を失い、生命力が【キ】希薄になる。

猫の野性は、その柔軟温順な外観から(9)ところに存在していて、こうした野性は内心的なものであって、猫の夢でもある。その内心的なものに対する驚異と恐怖とから、猫に関する伝説が生まれる。猫に関する迷信的伝説は道徳的な美の外側にあるものが多く、(10)それが報恩とか復讐とかいうことから発したものであったとしても、それは(11)独自の展開をなして、不思議な力を発揮する。

(1)～(11)に入れるのにもっとも適切なものはどれか。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. [A] そして | [B] ただし |
| [C] もっとも | [D] とはいえ |
| 2. [A] それで | [B] それが |
| [C] それも | [D] それを |
| 3. [A] ようするに | [B] もちろん |
| [C] なぜなら | [D] ところで |
| 4. [A] 気が合えば | [B] 気がすめば |
| [C] 気が向けば | [D] 気がきけば |
| 5. [A] を | [B] に |
| [C] から | [D] へと |
| 6. [A] きりない | [B] きれない |
| [C] きらない | [D] きない |
| 7. [A] そこか | [B] なにか |
| [C] どれか | [D] どこか |
| 8. [A] ゆえ | [B] もの |
| [C] ほう | [D] ところ |
| 9. [A] すぐれた | [B] はなれた |
| [C] よごれた | [D] みだれた |
| 10. [A] たとえ | [B] あえて |
| [C] もしも | [D] わずか |
| 11. [A] ぞくぞく | [B] ずるずる |

[C] たちまち

[D] そろそろ

12. 文中【ア】の「なら」と同じ使い方はどれか。

[A] もう少し発見が早かったなら,助かったのに。

[B] 動物の切手なら,どんな切手でもほしい。

[C] このまま不況が続くなら,失業問題は深刻になる。

[D] フランス語はだめだが,英語ならすこし話せる。

13. 文中【イ】の「次第」と同じ使い方はどれか。

[A] 彼は外国人を見つけ次第,誰にでも話しかけようとする。

[B] 先日は失礼いたしました。深くお詫びする次第です。

[C] 目的が達成できるかどうかは,本人の努力次第です。

[D] 今度のテストの成績次第では,上のクラスに上がることもできます。

14. 文中【ウ】の「最高」と同じ意味になる「に限る」の使い方はどれか。

[A] この席に座れるのは老人に限る。

[B] 疲れたときは温泉に行くに限る。

[C] このチケットでの入場は1枚1人に限る。

[D] 当センターの施設の利用は本校の学生に限る。

15. 文中【エ】の「すまして」と同じ使い方はどれか。

[A] 耳をすまして,学長の話聞く。

[B] 自分が悪いのに,すまして人のせいにする。

[C] 急いで仕事をすましてパーティーに行く。

[D] 心をすまして芸術を鑑賞する。

16. 文中【オ】の「いわれている」の「れる」と同じ使い方はどれか。

[A] まっすぐ行けば,駅前に出られる。

[B] 箱根は観光地としてよく知られている。

[C] 写真を見ると,父のことが偲ばれてつい涙が出る。

[D] 朝6時から練習を開始するから,起きられたら来てください。

17. 文中【カ】の「猫のうちには」に当たるものはどれか。

[A] 猫の仲間には

[B] 猫の身体には

[C] 猫の内心には [D] 猫の巣には

18. 文中【キ】の「希薄」に当たるもっとも適切な解釈はどれか。

[A] 密度がだんだん小さくなること

[B] 濃度が徐々に薄くなること

[C] 次第にある状態に達すること

[D] 充実性が乏しく、熱意に欠けること

19. 文中の「潜む」の読み仮名はどれか。

[A] ひそ

[B] かが

[C] しず

[D] ゆる

20. 文中の「柔軟」の読み仮名はどれか。

[A] じゅうだん [B] にゅうだん [C] じゅうなん [D] にゅうなん

Ⅱ. 読解(55点)

A. 次の文章の[一][二][三][四]を読んで、21～40の問いに答えなさい。答えは選択肢[A][B][C][D]からもっとも適切なものを一つ選びなさい。(2点×20=40点)

[一]

ぼくの子どものころは、買い物をするにも、定価の決まってい
ない買い物が多かった。それで、店の人とうまくなじみになって、買
物のやりとりをする要領が大事なことだった。同じものを買うに
しても、要領が悪く失敗したら、高い値段で買わされてしまう。ふだ
んからのつきあいだって、買い物のときになって、ものをいうの
だった。

これは、ある意味で、不平等なことであつた。同じものを買う
のに、相手次第で値段が変わる。失敗すると、損になる。

いまでは、定価が決まっている。平等に、だれでも同じ値段で、
買い物ができる。しかし、ときにはそれが、ちよつと味気ない(乏味)気
がしないでもない。なによりも、要領を身につけようと、努力するこ
とがなくなった。店の人と関係を取り結ぼうと、ふだんから心がけ
ることがなくなった。平等なかわりに、冷たい関係になってしま
った。

何度か失敗して、だんだんと要領を覚えていくものでもあった。その意味では、店の人というのは要領の先生であった。〈中略〉

値段の交渉をするということは、買い手のほうでも、その値段へ意思を介入することであった。与えられた定価のもとでの、買うか買わないかだけの判断ではない。そして交渉に参加したからには、たとえそれが高い値段であったとしても、それは買い手の責任に属する。つまり、自分の意思で、自分の責任で、値段を判断する余地が残っていたのだ。

このことの逆として、自分で判断し、自分で責任をとる機会が、平等や公正の名のもとに、だんだんと少なくなってきているのではないだろうか。さらにそれが、学校などで共同で買い物をしたりするものだから、ますます自分から遠くなっているような気がする。

どんなに平等や公正を保証された社会になっても、終局的に自分を守るのは、自分の判断と自分の責任だ、とぼくは考えている。そして、不平等で不公正だった昔の買い物は、その判断や責任を訓練していたような気もするのだ。

ふだんからの関係に気をくばり、要領よくふるまうのは、ズルイこととされている。それでは、平等で公正にはならない。

にもかかわらず、不平等や不公正のなかで要領よくやっていくズルサ、そのことの意味を、もう一度、考えなおしてみてもよいのではないだろうか。要領を否定した制度は、人間の関係を信頼しないことで、平等が強制されているような気もするのだ。

21. 文中の「ものをいう」の意味はどれか。

- | | |
|-----------|-----------|
| [A] 楽になる | [B] 役に立つ |
| [C] けちになる | [D] 勇気がつく |

22. 文中には、「ちょっと味気ない気がしないでもない」とあるが、それはなぜか。

- | |
|------------------------------|
| [A] 不平等で冷たい関係になってしまったから |
| [B] 店の人と関係を取り結ばなくてはいけなくなったから |

- [C] 要領を身につけようと努力することがなくなったから
[D] 値段の交渉をするのが前より増えたから
23. 文中には、「遠くなっている」とあるが、何が遠くなっているのか。
[A] 自分と店の人との関係
[B] 自分で買い物をする機会
[C] 平等や公正を保証された社会
[D] 自分で判断し、自分で責任をとる機会
24. 文中の「要領を否定した制度」の「要領」はどういう意味か？
[A] 平等で公正な社会を作るコツ
[B] 判断や責任から逃れるコツ
[C] ものごとをうまくやるためのコツ
[D] 苦労や努力をしないでやっていくコツ
25. この文章の内容に合わないものはどれか。
[A] 要領よくやっていくズルサもわれわれには必要である。
[B] 要領よくやっていくことは人間の信頼関係をこわすことになる。
[C] どんな世の中でも自分で判断し自分で責任をとることが自分を守ることになる。
[D] 買い物のやりとりのない社会では、人間関係は味気ない冷たいものになる。

[二]

「近ごろの若者たちは本を読まなくなった」と指摘されることがよくあります。なぜ大人たちは、若者が本を読まなくなったことをなげくのか。「本を読まなくなると、どんな悪いことがあるのか」「本を読まなくなって失われるものは何か」。この問いをすこし展開して、「本を通じて得られるもの」と「本でなければ得られないものは何か」を考えてみましょう。

たとえば、本を通じて得られるものは、知識、情報、教養、楽しみ、興奮、感動など。それでは、これらのうち、「本でなければ得られないも

のは?」と考えると、何が残るでしょうか。今や電子メディア(媒体)の普及で、たいていの知識や情報は、本でなくても手に入るようになりました。活字メディアよりも数段はやく、しかも手軽にさまざまな情報を手に入れることができる時代になったのです。楽しみや感動、興奮にしても、映像・音響メディアの発達から、本でなくても深い感動や楽しみを得ることはできます。(ア)、こうしたものは、発達したAV 機器によって本よりも迫力をもって伝えられる時代になりました。原作の本を手活字を目で追っていくよりも、大画面の大音響のもとで映画化された作品を見るほうが、興奮も感動もずっと大きくなる可能性だってあります。それでは「教養」はどうか。たしかに、テレビを見ても、コンピュータから得た情報によっても、あるいは講演会や大学の講義などを通じて、「知識」を得ることはできます。「教養」をたんに知識として見れば、なるほど活字メディアでなくてもよさそうです。

それでも本でなければ得られないものは何か。それは、知識の獲得の過程を通じて、じっくり考える機会を得ることにある。つまり、考える力を養うための情報や知識と格闘をする時間を与えてくれるということだと私は思います。他のメディアとは異なり、本をはじめとする紙に書かれた活字メディアでは、受け手の歩調に合わせて、メッセージを追っていくことができます。活字メディアの場合、読み手が自分の歩調で、文章を行ったり来たりしながら、「行間を読んだり」「論の進め方をたどったり」することができるのです。言い換えれば、他のメディアに比べて、時間のかけ方が自由であるということです。

文章を行ったり来たりできることは、立ち止まってじっくり考える余裕を与えてくれることでもあります。いかにも真実らしいせりふに出会っても、話しているときのように「そんなものかな」と思って十分吟味もせずに納得してしまわない。本の場合、そうしたいいかにも真実らしき自体を疑ってかかる余裕が与えられるということです。